

2023年2月12日（日）／説教者：石原真（与勝バプテスト教会牧師）

説教：「求めよう主に！主の霊を」

聖書：使徒言行録2：17

使徒言行録の2章は、聖霊降臨の出来事が記されているところです。イエス様復活の日から50日目に聖霊は降られました。このことは人々の知られるところとなります。弟子たちの様子をいぶかしく見る人々にペトロが語り始めます。「酒に酔っているではありません。聖書が約束していたことが起きたのです」。ペトロが引用した御言葉はヨエル書の御言葉でした。つまり、今民衆が目にしてしている出来事は「神の霊が注がれたことだ」と言ったのです。このことは、集まっていた人たちにとって、説得力のあるものでした。ペトロのメッセージを聞いてその日「三千人もの人々」が仲間に加わったのです。

ユダヤ人にとってヨエル書の御言葉は、理解するのが難しかったのではないのでしょうか。なぜなら、旧約の時代、神の働きをするのは特別に油注がれた人（「神の霊」が注がれた人）でした。にもかかわらずヨエルは「その後、私は、すべての肉なる者にわが霊を注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、老人は夢を見、若者は幻を見る」と言ったのです。つまり、普通の人に神の霊が注がれると言っているのです。これは、理解の外にある言葉といえます。

だからこそペンテコステの日、ペトロが「今ここに起こっていることは、ヨエルが預言したことです」と言った時、多くの人たちは、「なるほど、このことだったのか！」となったのだと思います。

では「神の霊」が注がれるために必要なことは何か。それは「主の名を呼び求める」ことです。つまり、主を信じることです。年齢、性別関係ありません。地位、経歴関係ありません。富や健康関係ないのです。必要なのは、ただ主を信じる信仰のみです。実際ペンテコステの日に、神の霊が注がれたのは普通の人たちでした。ただ彼らに共通していたのは「イエスを真の救い主と信じる」信仰のみでした。そして、今、私たちもその信仰に立っています。

イエスキリストを真の救い主と信じている者には、貴賤を問わず、年齢、性別を問わず、学歴、経歴、能力を問わず、主の霊が注がれるのです。主の霊は、信じる者、誰にでも注がれるのです。誰でも、主の御声を聞き、主の御心を知ることができるのです。大切なのは、ただイエスキリストを救い主と信じる信仰だけなのです。（石原真）